

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換 (有料) してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は下記の「ホームページのご案内」参照)

部品名 (P.1「各部のなまえ」参照)	部品番号
中せん (中せんパッキンを含む)	S78-6B
中せんパッキン	BB478039M-01
コップ	BB607805L-01
ベルト (バックル・調節具含む)	567223-05

- 中せん・中せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- 中せんなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換 (有料) してください。
- 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間です。
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などで困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0120-345135

受付時間 9:00~17:00

月曜日～金曜日 (祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
..... TEL (06) 6356-2451 (有料)

- FAXでのお問い合わせ
..... FAX (06) 6356-6143 (有料)

製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043

大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」の個人情報は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社および協力会社との間で共同利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

ホームページのご案内

象印マホービン お客様サポート

<https://www.zojirushi.co.jp/toiawase/>



- 通信費はお客様の負担となります。ご了承ください。

象印マホービン株式会社



家庭用

取扱説明書

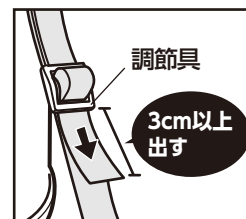
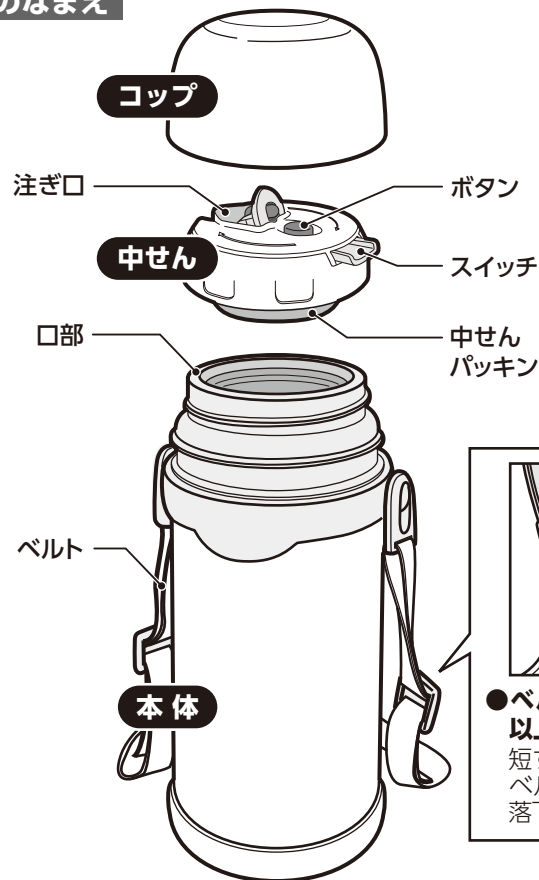
ステンレスボトル
SJ-TG 型

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは大切に保管してください。

- ご使用ごとに各部品がつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



- ベルトは調節具から3cm以上出してください。短すぎると調節具からベルトがはずれ、本体が落下する原因になります。

- お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。 **⚠ 注意** 軽傷または物的損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。 **!** 実行しなければならない「指示」内容です。

⚠ 警告

⊘ 乳幼児のいたずらには十分注意する
やけど・けがの恐れがあります。

ベルトを首から掛けない
周囲のものに引っ掛かり、
窒息する恐れがあります。



! 転倒したときにけがの恐れがあるため、次のことに注意する

- なるべくリュックサックなどに入れる
- ベルトを肩に掛けているときは走らない
- 製品がおなかの正面にこないようにする
- 遊具などで遊ぶときは製品を置いて遊ぶ

⚠ 注意

熱い飲み物を入れて使用する場合

⊘ ●飲み物が飛び散る原因になるため、傾けた状態や、顔の近くで注ぎ口を開けない

! ●やけどの恐れがあるので注意する

- 飲み物を注ぐときは、急に傾けずにゆっくり傾ける
- 本体に飲み物を入れるときは、転倒しないように注意する
- 直接飲まずに、必ずコップを使用する

⊘ 製品専用の部品以外はつけない

改造・分解修理はしない

製品を激しく振ったり、ベルトを持って振り回さない

保温・保冷性能が低下した製品は使用しない

真空層から水の音がする場合は使用しない
真空層からしみ出た水を飲み
体調不良を起こす恐れがあります。



落とすと危険なため、コップ・中せんを持って運ばない

ベルトに破れ・ほつれなどがある場合は使用しない
破れ・ほつれの箇所によっては、製品が落下し、けがの恐れがあります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない

ストーブ・コンロなど火のそばに近づけない
やけど・製品の故障の原因になります。

⊘ 電子レンジでの加熱はしない
火花が飛び恐れがあります。
また、変形・変色の原因になります。

直火（ガス台など）・電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない
火災・故障の恐れがあります。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない
製品の破損、保温・保冷性能が低下する原因になります。

缶・びんなどを本体に入れない
変形し、故障の原因になります。

自動車走行中は飲まない

本体の絵柄がはがれるため、つめや固いものでひっかいたり、こすったりしない

次の物は絶対に入れない

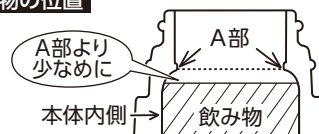
- ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、中せんが開かなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せん・コップが飛び原因になります。
- みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
本体内側がさびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。
- 牛乳・乳飲料・果汁など
腐敗の原因になります。
- 果肉・お茶の葉など
詰まりや漏れる原因になります。

本体外側の底に貼っているシールをはがさない
故障の原因になります。



! 飲み物の量は図の位置までにする
入れすぎると中せんのボタンが固くなったり、中せんをつけると、飲み物があふれる原因になります。また、中せん内に飲み物が入り、あとから漏れ出すことがあります。入れすぎた場合は少量の飲み物を捨ててから、元通り中せんをつけてください。

飲み物の位置



飲み物はその日のうちに飲みきる
長時間放置した場合、飲み物が腐敗する原因になります。また飲み物がふき出たり、中せん・コップが飛び原因になります。

使用後は製品を洗う
特にスポーツ飲料を入れて使用したあとは、すぐに本体内側・本体口部・中せん・コップをよく洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色・漏れる原因になります。
また、本体のさび・穴あきの原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込むと製品が変形し、故障や漏れる原因になります。

万一の漏れや結露を防ぐために、バッグなどに入るときは製品を縦にして入れる



保温時に、コップの内面に水滴がつく（結露する）場合がありますので、注意する

中せんパッキンは確実につけた状態で使用する

中せんは確実につけて使用する

ベルトは確実につけて使用する
製品が落下し、けがの恐れがあります。

ベルトを使用するときは、ベルトが素肌に直接あたらないようにする
肌にこすれて、けがの恐れがあります。

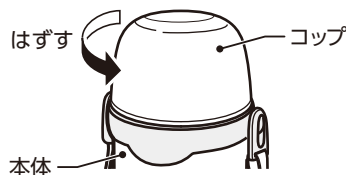
飲み物が、漏れないことを確認してから使用する

使い方

- ご使用前にお手入れ方法に従って十分に洗ってください。
- 製品の破損や漏れる原因になるため、飲み物を注ぐとき以外は、注ぎ口を開めた状態にしてください。
- 中せんの取り付け、注ぎ口の開閉のときは製品を立てた状態で行ってください。

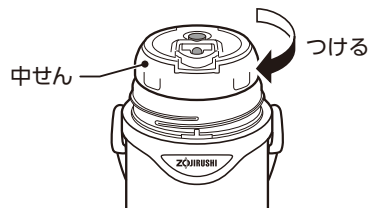
1 本体からコップ・中せんをはずす

コップ・中せんを矢印の方向に回し、はずす



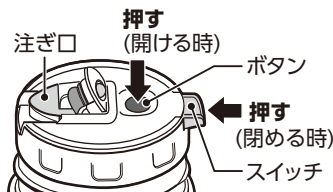
2 飲み物を入れ、中せんをつける

中せんを矢印の方向に回し、確実につける



3 飲み物を注ぐ

- ① 飲み物を注ぐ場合は、中せんのボタンを矢印(↓)の方向へ押し、注ぎ口を開ける
- ② 製品を傾け、注ぎ口より飲み物を注ぐ
- ③ 注いだあとは、スイッチを矢印(←)の方向へ押し、注ぎ口を閉める

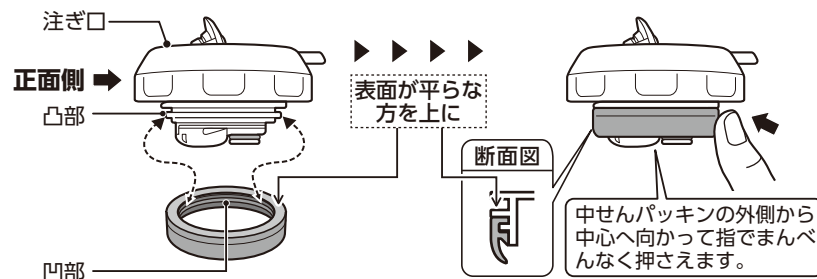


- 製品を傾けた状態で、注ぎ口を閉めないでください。
- 飲み物を注いだあとは、製品を立てた状態で2～3秒たってから、注ぎ口を閉めてください。
- コップの内側に飲み物の「しずく」が残ることがあるので、振り切ったあと、よくふいてください。

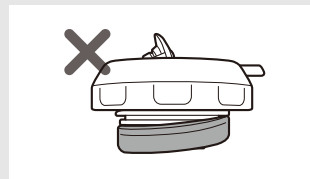
中せんパッキンのつけ方

- 中せんは分解しないでください。
- 中せんパッキンは、正しくつけてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

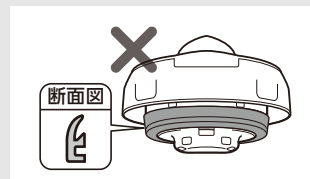
- ① 中せんの正面側から先に、中せんの凸部と中せんパッキンの凹部をあわせ、中せんパッキンを正しい位置につける
- ② 周囲を押し込むようにしてつける



間違ったつけ方



正しい位置につけてください。



上下を間違わないようご注意ください。

お手入れ

- におい・汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

お手入れ時の注意

製品が損傷する原因になりますので、以下のことに注意してください。

- 煮沸しないでください。また、食器洗い乾燥機・食器乾燥器などは使用しないでください。
- シンナー・ベンジン・みがき粉・研磨剤入り洗剤・たわし類（ナイロン・金属製など）・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面などは使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。また、本体外側の塗装・印刷・シールは、塩素系以外の漂白剤でも、はがれる原因になるため、お手入れには使用しないでください。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ洗い（水中に放置）はしないでください。
- 本体内側を傷つけないように洗ってください。
- 長期間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。

お手入れ方法

本体・コップ・中せん

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う
 - ②すすぎ洗いのあと、水気が残らないように乾燥させる
- 本体のベルトははずしてからお手入れしてください。
 - 中せんは中せんパッキンをはずし、それぞれ洗って乾燥させてください。
 - 中せんは注ぎ口（右図）もきれいに洗ってください。
 - 中せんは注ぎ口を開けた状態で振ってください。
 - 洗にくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。

- お手入れのときは、「ピカボトルシリーズ ボトル用スポンジ」をご利用ください。（別売品）（P.7 参照）

ベルト

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固く絞ってからふく



赤さび状の斑点や水アカ

- ①食酢を約10%加えた湯を本体内側に入れる
- ②中せんをつけずに30分～1時間置く
- ③本体内側をよく洗う

茶しぶ・コーヒーのこびりついた汚れ（本体内側・中せん）

- 「ピカボトルシリーズ ステンレスボトル用洗剤」をご利用ください。（別売品）（P.7 参照）
- 洗浄のときは中せんを本体からはずしてください。

お手入れ つづき

ピカボトル シリーズ

- お手入れにはピカボトルシリーズをおすすめいたします。

商品名（ピカボトルシリーズ）		品番
ステンレスボトル用洗剤	パウダータイプ(10g×4包入り)	SB-ZA01
	タブレットタイプ(8錠入り)	SB-ZB01
ボトル用スポンジ		MB-AA01

故障かなと思ったとき

症 状	原 因	処 置
中せんから飲み物が漏れる	中せん・中せんパッキンが正しく、しっかりつけられていますか。	中せんパッキンの取り付け位置や方向・浮きがないことを確認してください。（P.5「中せんパッキンのつけ方」参照）
	中せん・中せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にしてください。（P.6、7「お手入れ」参照）
	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。（P.3「飲み物の位置」参照）
飲み物や本体内側・中せんがにおう	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・中せん・パッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にしてください。汚れが落ちにくい場合は「ピカボトルシリーズ ステンレスボトル用洗剤」をご利用ください。（P.6、7「お手入れ」参照）
中せんをはずすのがかしい	熱い飲み物を入れたことにより、製品内の圧力が上がるためです。	一度ボタンを押して、内圧を抜いたあとに、中せんをはずしてください。
保温（保冷）が効かない	十分に熱い（冷たい）飲み物を入れていますか。	十分に熱い（冷たい）飲み物を入れてください。あらかじめ本体に熱湯（冷水）を入れ、1分程度予熱（予冷）しておくこと保温（保冷）に効果的です。
中せんのボタンを押したときに「プシュッ」と蒸気が出た	熱い飲み物を入れたとき、内部の空気が温められて膨張し、内圧が上がるために起こる現象です。熱い飲み物を入れたあとは、注ぎ口を開けたまま中せんをつけ、しばらく（約20秒）おいてから注ぎ口を閉めてください。	
本体を振ると「シャカシャカ」という音がする	保温・保冷効果を高めるために、本体内部に入れている金属箔がこすれて出る音です。異常ではありません。	